十島村立 4月24日発行

口之島小中学校 児童生徒会新聞

伝が<u>よえだくたさ</u> いヤうて学し ん今 なギなあ校て が年 が当かげのいさ入は ら番ったこきん学 、 当をこいとたとし小

ーュ 番頑いでやいヽま学 の張いす地と中し校 仕り人。域思学たに 方たにそのい生 もいなれこまにこ 教とりかとしなれ え言たらをたつか 小 たた。 いの でで

てつい、知。たらさ `ん いささ学中 のんん生学 で さではとに校 、さん、、仲なに

小あてで僕ら 四げいすはな ∘手んの教ま良っ 、実八いもに基七

らこ | Q よ | Q | Q いはで | Q 多に特 | Q めと自十 ◦軽十畑九る の ∘わ宝は 。出タ本 荷イ的ど 塩お土草 り島島 湯勧作取 とはに株 しョにこ てーはに でめりり 大砂よど しのと以 きでつの いと、出 て食、外 て契N荷 く植てく ラベマで `えらら 、約Ρし 一方ルど 私し0て 口てつい 之いきの のてをい

島るょ大

の影うき

豊響のさ

かだ大で

なろきす

土うさか

壌 ∘が?

の私違

おのう

か作。

げる中

だら之

とつ島

考きは

えょ山

てう地

らい通ま

つるしす

き。てか

よ他出?

うに荷

は熊し

東本て

京やい

に福る

す大児

る阪島

と東は

が京

、鹿

ヽで

出岡

荷

ずを分 に続の 頑け将児 油はチの `をよ な ど何敷う をでいこかすてと 実分ジ 現かを しらお けからを てな願 て?つし いくいくてし 作 きて る よい ともま ナ うま ム をす

ル

が

お

い

し

い

植か

え?

る

لح

張れ来童 っぱの生 て、た徒 くそめに だのにメ さ思なッ いいるセ ∘がか丨 思 ヽす う自 の分 での

きな

`好 あき

答 îì え イン 1) る た だ タ ビ い 그 た さ

t

5

迴

ら つ き よう」と んに

&仕事に迫る

まいをいイます荷知で すまさまンしばさる作 。しせしタたられこらさ 。してとれん いいがてに 場る でいイ 所ときるン に聞まらタ 畑いしつビ がてたきュ 。よー あ驚 りきまうし 、またとて よ前のよと く岳らうい イのっなう ン麓き特仕 タのよ徴事 ビとうがの ュてがあ魅 |も東る

Q | Q始 | Q特 | Q | Q | Q ○九六草五め昔四徴ら三口二自 がつ 取 たか 之 分 像のいり仕いらなあき島島何の仕 よ中つが事と五ぜるよでに歳育事 り旬頃大で思十こかうら来かてで 早に植変つつ歳のらはったらた楽 い植え。らてに仕、潮き四仕もし 、ついいな事島風ょ十事のい て収らこたるをのにう六をがこ よ、穫いとしま始農もを歳始出と

るい

ع ∘

い

想月 月すは何業、し向育理 のかなでが南たいて由 中?いす好のかてやは

う十しこは、でめ業強作かめ荷は 。二まと、農にまにくるらまさ ∘しれ何 たるで かこす

∘かき島?いす? 旬 ?だで ろ か農 1 ら業 収 ∘を ビう が風京か力 今で景にな 張ごュ りざー ご今で景にな ヽ ざ回きの出ど島

てたビ

。い。ュ

五たまし

月だたさ

かい、せ

パ らたこて

は島れい

新民また

しのでだ

いみ仕い

新な事た

聞さや

委ん祭

員、り

会本にさ

が当つん

事あてあ

作りイり

りがンが

をとタと

記にい

新 聞 委 員 会

同

命なしうのけ。い練。ぼ 学いみに授るおこ習ひく 校こに頑業よ手とをらが 生とし張でう本はしが今 丶てな頑 活がてりのにに をいいま、なな字いや張 頑つます準りるをま数っ 張ぱす。備たよきす字で -10 りい。学運いうれ。をい へたあこ校動でないこ覚る 小いるれ探もすきにれえこ ∘れ書かると でけか検覚 すどらもえまいくらよは いいらたなこ頑う勉 ーわつれ、字と張に強 生かもる体をでり毎で

懸ら楽よ<u>育書すた日</u>す

るくこ習れ、活っ業を こ楽のしたも動文にすわっ 強にっをの とし決まこつも武臨るかた し をみ意すとと充両みこる難 た学活ポめ 誓なを °を上実道まとまし こ習動 | に 素手さ」すででい と面しトま いが忘 まられ 直にせを す過ず になため 吸りいざ ごに 収たでし 中 しいす 大年 `の °部 自でも活 き間 、つ動 くを 主 成私 的教とや 〜長ら

練らく外

す

授習きな

要力題

身まひ

にたと

を

をさ

ヽてサた

、か 勉次もんそすら分い

∘を活

引動

つに

張積

つ極

て的

いに

け取 るり

よ組

うみ

、ま

青す

任 0

感

で

◦必努問 はでてしず

なしは の予きみ生

知まわ 日習まん徒

識すか のやすな会

ち習

にを

ず

∘る う復

そはい

まも五

で 丶今 · 今日

つでよ

たすい

のがよ

そまか

のでら

う輩中

な達学

中か生

学らに

生かな

につり

なこま

りいす

い姿期

とを待

強何と

く度不

思も安

つ見が

てせ五

いて分

新入生の

さん

抱負を発表している

さん

たい

よ先

つ こに 復欠 け予聞 にえ強課 習か

きに回

よイの

うン特

作タ集

りビで

やュは

産を口

のし之

おま島

仕しで

事た農

てさむ

いん

まは

を

営

を 。業

さ

れ

?とか

畜丨

をさ そ行 れい でま もす ゎ か学 ら校

すらさ ∘つん今

入学式



小5

し表セまし てでリしま `きフたし どまががた んしと、∘先 なたて追口生 ∘もい之

事新難込島 でししみ小

行



QQQQQ 五四三二一

好趣好年誕

き味き齢生

なはなは日

お何乗いは

菓でりくい

子す物つつ

はかはでで

す

か

け釣市

のり電

の

里

∘何すす

た**★★★★** 年

でかかっ

。小

月

歳日

学



QQQQQ五四三二一

好趣好年誕

き味き齢生

なはなは日

食何歌いは

べではくい

物す何つつ

はかででで

な

し歳日

目読特

玉書に

∘すすす

かかか

何

で

す

か

焼

专

息小中学校へ



Q Q Q Q Q 五四三二一

好趣好年誕

き味き齢生

なはなは日

食何歌いは

べではくい

物す何つつ

はかででで

桜

さ読千

く書本

∘すすす

かかか

何

で

す

か

ら

4,

ぼ

小

年

月



QQQQQ 五四三二-

好趣好年誕

き味き齢生

なはなは日

食何歌いは

はか誰でで

か

何

で

す

小

五

年

月 **生**

歳日

べで手くい**先**

物すはつこ生

∘ですす



Q Q Q Q Q 五四三二-



れ達七 かを年 ら迎度 どえが うてス 好趣好年誕 よみし ろんト しなし くでま お楽し 願した いく し勉二 ま強名 すやの

いの

ま新平 すし成 。いニ

こ友十

∘運先

動生

をと

し三

Nice to meet you

き味き齢生 なはなは日 食何歌いは べで手くい校 物すはつつ長はか誰でで 。ですす**先** 何 すかか生 で す か

学 月 لح ・ン 理 科 書ジ

か

校 か の *** お音フ 好楽ァ 4 焼旅モ歳日

すかか中 。学 **★**ゴ**★**★★ ラル所 | フジ フジ ン読|歳日

き行ン て人

しがみ負んつしいいた が行米ろし 楽っをうい十か、んけなったまと 。四 して作とお二つ植なら頑た。しい田月 みみる思米月たえもれ張等途たうん十 でたたいでので終足なっ聞中が友ぼ-すいめまお餅すえやいてこで、達に日 ∘でにしいつ ∘た手ないえ 、一も入に 時がとるて腰生いつ田 `たしき ∘農。い大 は痛思んきが懸てて植 匹 出園おお会 とそいだた痛命僕 てうまなのい頑も気を 来にいもで もでし、で、張そ持し 上たしち、 うした僕、足りうちま がまいをお

ま | ぞ Q の く の | 感 Q 害 な 児 | Q す 放 印 | Q

みんなで苗を植えているところ

学校紹介で野生牛のお面をつけて・・・

もいか漁中 協先っや学 力生たタ校校 さ まく達か去ををた余るしサナ久張 しやでモや長 ん今すでやつ年追紹、裕間ま | リ高っ今 て友すト島先 、回。き先たはい介劇は、しををマた年 い達。ユの生 た生の、込しのあ見た踊しンこの きとでリこの らとで追むま中りて 。つまジと学 へたこものと五 い全 **、い演しでまいエてしュは校** 小いて今込技たはせるイ見た | 工紹 小いれ、こに人 六でか大とつに さ 三なの年みを 。、ん人サせ 。主イ介 すらきにい学 ん と行は漁しみ追での「た初とサで 思事新がまんいし顔をのめミ ◦もなつて校 仲声い劇紹 っをしでしな込たをしでてルでー て楽いきたでみ。見て緊エクす番 良でてを介 く発のしを いし友な 。魚漁まるい張イム 。頑

楽何時 | ぞQけ強 | Qせ最会わ | Q ○三なをサニん後やれど-いしッ ∘の文るれ 口のてカ今 エ化とも口

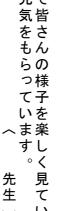
しとも何 みかあと に乗りか 之でい | 頑 しりま毎 イ祭エ大之 て越す日 サでイ切島 島、ま部張 いえが頑 の毎すのっ 一のサなで ・演|思の まて、張 み回。顧て すい口っ ん緊試問い ・技でい思 ∘ま之て な張合にる ゝす出い ∘そ ∘で出 す島い にしでなこ ∘でま 、てはっと 忘し毎すは まのす メい審たは れて週が何 た思。 る船の、で ツま判の何 <会いた この練特す セすもでで ٥し え出ま ヽす と上習にか るをに な審か がか 先と胸つ を い判。 でら体つ 生きにら تخ き見育と との

い勉

また大い

を 11 の写 職真 場は、 で の 様 体子で の





う

す毎 ◎四経り活ちじ三に障童今二 験は動ょる ○调 つ害支 いブ 口のとでっこ口いを援吉今 つロ 之おて花とと之ても員野頑 もグ 島かもをしは島勉つと学張 元で のげ手植た何で強たし園っ みだ際えこでやし子てのて んとよたとすって供、放い な思くのでかたいた働課る にいでです `まきすが メしまが、 が ッたし、最 役 ∘たそ近 ャ 立 ∘の子 つ ジ 口時供 て を ののた い らろビ

りにお作い

じい会口 く思・之 らい文島 い出化で `の祭の 大一 \思 切つ追い ∘こまちい後こ なでい出 とすとてなと 思す込は ∘関いどは いがみ何 出、漁で わまデ何 りすイで に毎なす な。サす な週どか がいーか つのの て夜行 島土ち いいス い間事 る でづと 障ろで ま開も

れた。もみがま思悪し

∘も象運−

同深動



